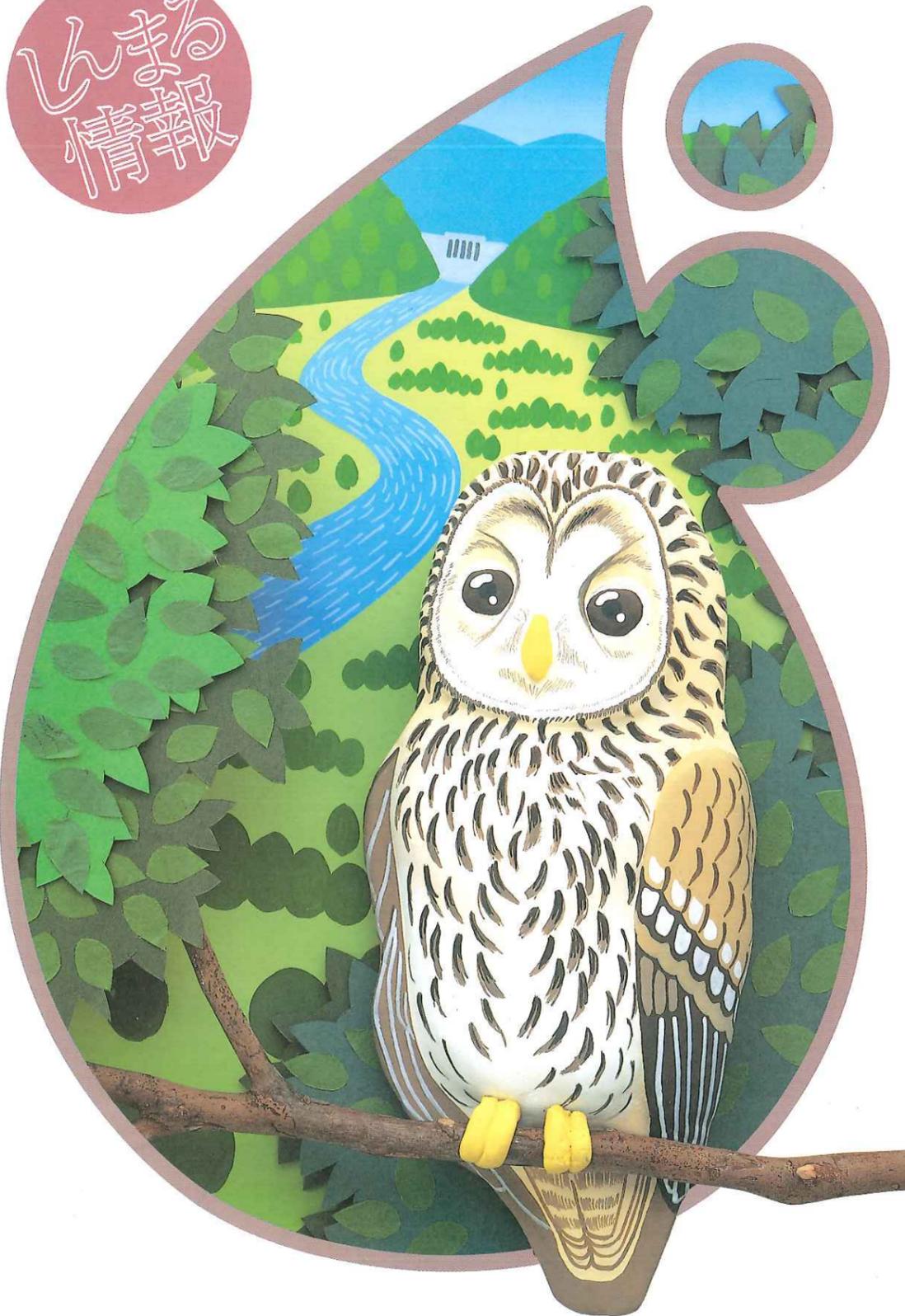


# みずしるべ

しるべ  
情報



新丸山ダムキャラクター  
しんまるくん

発行  
建設省中部地方建設局  
新丸山ダム工事事務所  
**12**

### INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や  
関連する方々との情報ネットワークとして、情  
報誌「みずしるべ」を発行しております。  
今号は、平成6年度事業のあらましをテーマ  
にしました。今後も内容をますます充実させて  
いきたいと思っております。ご意見・感想がござ  
いましたら、ぜひお寄せ下さい。



**フクロウ**  
新丸山ダム周辺の森林にはフクロウが  
生息しています。昼は葉の陰などで眠り、  
夜行性。木の穴に巣をつくります。  
えさはネズミなどの小さな哺乳類やカ  
エル、昆虫類など。4月初めに白くて  
丸い卵を2〜3コ産み、1ヶ月でヒナ  
に、約5ヶ月で飛べるようになります。

### 新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曾  
川本川が濃尾平野に流れ出る手  
前の峡谷に設置されている丸山  
ダムを大規模に嵩上げて、洪水  
調節能力を大きく向上させよう  
というものです。

我が国あるいは世界で大きな  
役割をになっている中部圏を支  
え、更に発展させてゆくための  
基盤施設として、木曾川の新た  
なカナメとして生まれかわる新  
丸山ダムは、極めて大きな役割  
を果たすこととなります。



▲恵那峡の湖面に浮かぶ燈籠



取材協力/恵那峡観光協会

板前さんが料理の材料のために殺生した魚や鳥などの生き物や、  
水没者を供養するために、1000個の燈籠を恵那峡の湖面に流  
す「精霊流し」。7年前からはじめられ、今では市をあげての大  
な行事になりましたが、もともとは、恵那峡のわずかな人々の手  
で行われていたのがきっかけ。現在では、毎年8月1日に行われ、  
恵那市では、規模の大きな祭りの一つとして定着。恵  
那市内外より、参加者や見  
物人が約1万人も訪れてい  
るそうです。また、大漁祈  
願を込めてコイの稚魚の放  
流も同時に行われています。  
精霊流しの見どころは、  
なんといっても湖面に浮か  
ぶ燈籠の群れ。お尚さんか  
ら先祖の名前が読み上げら  
れ供養されると、燈籠は湖面に浮かべられユラユラとさまよいま  
す。その様子は、川とは違って流れのないダム湖ならではの。日が  
落ちるころロウソクの灯りが一つ、また一つと増え、湖面を飾る  
光景はとても神秘的。日本の情緒があふれる祭りの一つです。



## 精霊流し

恵那市

水とふるさと  
灯籠の灯りが夏の夜の湖面を彩る

## いべんと

インフォメーション

### 瑞浪市

- 10月9日 笹おどり【土岐町鶴城】
- 9日 酒波神社例祭【日吉町】
- 9日 宿、宿洞獅子舞【日吉町】
- 15・16日 産業フェスティバル【市道竜門線】
- 20・22日 セミツクマシヨウ94みずなみ

### 御嵩町

- 11月20日 農業祭【化石公園】

### 恵那市

- 10月10日 八幡神社祭礼(顔戸祭)【八幡神社】
- 23日 御嵩町音楽祭【中公民館】
- 10月2日 蘇原神社大祭(剣の舞い)【蘇原神社】
- 8・9日 恵那ふるさと祭「みよりのみり祭」【市内中心部】
- 8・9日 恵那工業生産物産展示会【市民会館】
- 10日 武並神社例祭(重箱獅子)【武並神社】
- 11月13日 農業祭【市民会館ふれあい広場】

### 八百津町

- 11月12・13日 八百津町産業文化祭

お問い合わせ 八百津町役場 (0574) 43・2111

### みずなみ産業フェスティバル

子供からお年寄りま  
で、一日中、楽しく遊  
べる秋の祭が開催され  
ます。会場は見る・ふ  
れる・食べる・参加す  
るなど、趣向を凝らした  
数々の催し物でいっぱい。  
「このフェスティバルを  
とおして、市民のみなさ  
んはもちろん、他の地域  
の方々にもっと瑞浪を知ってもらいたい、新た  
な瑞浪を発見してもらいたい」と、話してくれた  
のは瑞浪商工会議所の山  
内さん。参加者全員が楽  
しく過ごせる祭にしたい  
という意気込みが伝わっ  
てきました。



▲毎年、大勢の人々にぎわいます



瑞浪商工会議所  
総務課長・山内正雄さん



▲秋の味覚をほおぼる人々



▲恵那ふるさと祭実行委員会  
広報部長・栢植 朗さん

建設省中部地方建設局  
新丸山ダム工事事務所  
〒505-03  
岐阜県加茂郡八百津町八百津3351



もしもしテレフォン  
新丸山ダムについてどんな事でも  
お気軽にお問い合わせ下さい。  
0574-43-2780(代)

# 一般国道 418号原石山線 開通

一般国道418号八百津バイパス・原石山線が、4月21日に開通しました。  
この道路は、八百津町地内の原石山からダム建設に必要なコンクリートの骨材を運ぶための工事用道路と、一般国道418号八百津バイパスをかねています。



▲4月21日に開通した一般国道418号八百津バイパス・原石山線

## 深めたい、地域とのふれあい 【開通記念イベント】

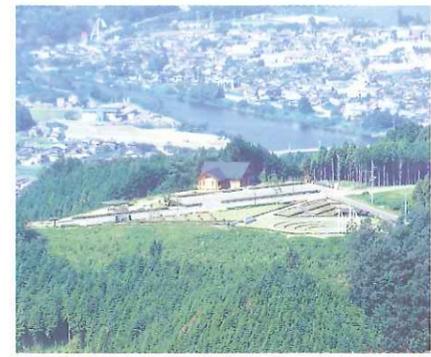
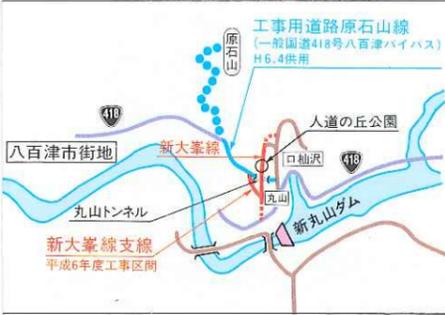
1300人が参加、親子連れで大にぎわい



▲会場は、大勢の人々の笑顔でいっぱい

4月17日、新油皆洞橋付近で『開通記念イベント』を開催。八百津町内で、ここ一年間で子供が誕生された家族のうち76組を招いての記念植樹や、開通前の道路を利用した一般参加のウォークラリー、ゲーム、屋台などを行い、地域とのふれあいを深めました。

子供たちのすこやかな成長を見守る記念樹



▲本年8月2日完成式が行われた「人道の丘公園」

■環境に配慮した新技術・新工法を採用!!  
今回、採用したのは「多数アンカー式擁壁工法」。土中に各種の補強材を入れることによって、擁壁の強度を増加させます。安定度が高く、特に山岳道路などの施工や管理、用地幅の節約に優れるなどの長所があり、少ない用地で工事ができるため、環境にも配慮した工法です。



▲改良工事が進む町道新大峯線

# 楽しみ・驚き、新しい発見がいっぱい 森や湖とふれあえる 夏のイベント

森や湖とふれあう機会を増やし、川や湖などの大切さや理解を深めていただくため、7月22~24日、丸山ダム管理所と共同で「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催。約700名が、水と緑に囲まれた丸山ダムで楽しい一時を過ごしました。また、8月7日に行われた「八百津町蘇水峡川まつり」には、新丸山ダム工事事務所も参加。職員など24名が参加し、新丸山ダムのPRをかねてパネルなどの展示、うちわ1000枚の配布や楽しいゲームなどで、地域の方々との交流を深めました。

八百津町蘇水峡川まつり

▼丸山ダム湖の魚釣りゲーム・大人も子供も陸の上でワイワイ魚釣り



遊覧

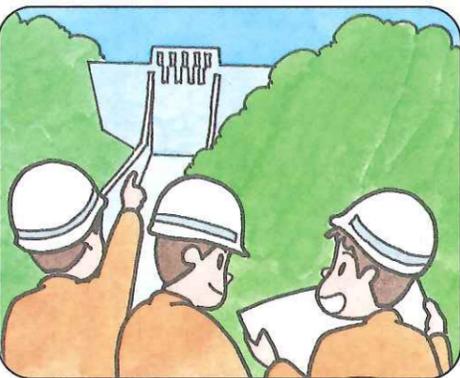


横坑探検



▲新丸山ダム工事事務所の職員がふんするぬいぐるみと遊ぶ子供たち

## 調査設計について...

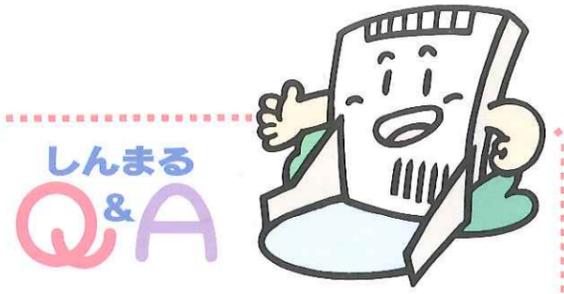


日本最大規模のダム嵩上げに向けて慎重かつ綿密な調査を実施します

今年度は、ダムなどの地質調査や設計検討を実施するとともに、環境調査を行います。また、工事用道路や付替道路の地質調査や測量・設計などを行います。

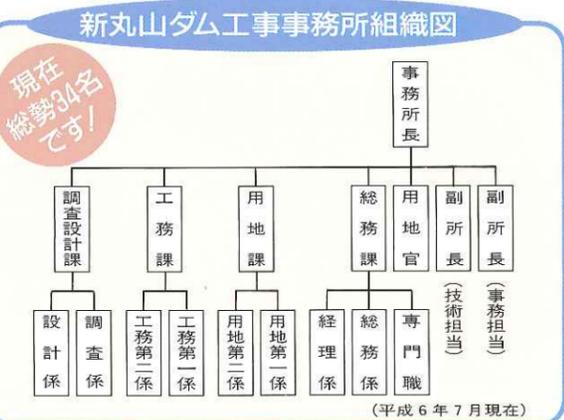
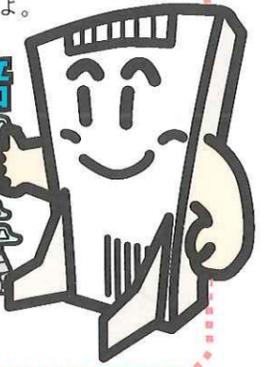
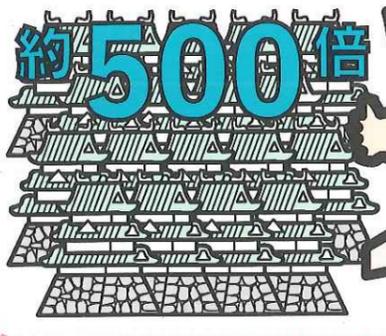


24.3mも嵩上げされます!



Q 新丸山ダムには、どれくらいの量の水が貯められるの?

A 新丸山ダムのダム湖には、約1.46億<sup>m</sup>の水が貯水できるようになるよ。名古屋城の容積と比べると、ナント約500倍にもなるんだ!ちなみに、丸山ダム湖の容積は、約0.8億<sup>m</sup>だよ。



## 水を大切にしましょう!

川やダムの水が少なくなっています! みんなの暮らしを支える水を大切に使い、節水にご協力ください!



牧尾ダム (8月17日撮影)



阿木川ダム (8月10日撮影)

# 新丸山ダム

# Now & New

“ダム建設は、どこまですすんでいるの？”  
“これからどんな工事が必要なの？”  
新丸山ダムのいろいろな最新情報を紹介します。



平成6年度はこんな  
事業を行って  
いきま〜す!

### 事業費について…



平成6年度の  
事業費は  
**24億円**

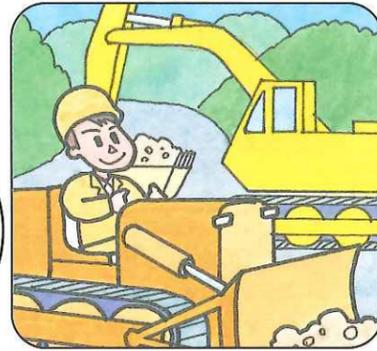
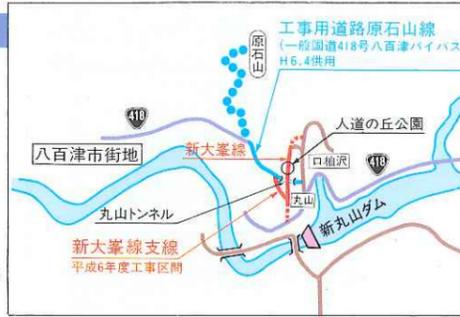
### 平成6年度事業のあらまし

平成6年度は昨年度に引き続き、新丸山ダム建設に必要な用地の取得や道路整備、周辺環境調査やダム本体の設計などを進めてまいります。地域整備を推進し、さらに、自然との調和を図りながら事業を行うために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

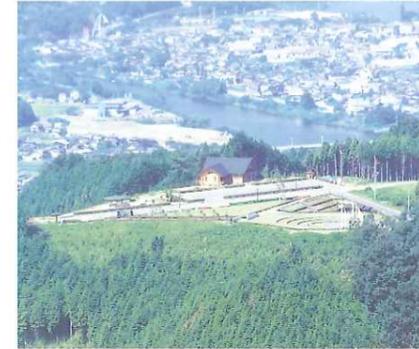
### 工事について…

### ダム建設に向けて 地域整備を推進します

昨年度に引き続き、町道新大峯線の改良工事を行います。また、今年度から新大峯線支線の新設工事に着手します。また、道路沿線には、ダム建設にともない移転される方々の代替予定地や人道の丘公園があり、こうした地域とのアクセスがさらに良くなります。



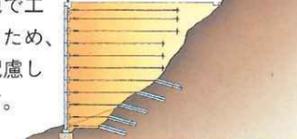
▲改良工事が進む町道新大峯線



▲本年8月2日完成式が行われた「人道の丘公園」

### ■環境に配慮した新技術・新工法を採用!!

今回、採用したのは「多数アンカー式擁壁工法」。土中に各種の補強材を入れることによって、擁壁の強度を増加させます。安定度が高く、特に山岳道路などでの施工や管理、用地幅の節約に優れるなどの長所があり、少ない用地で工事ができるため、環境にも配慮した工法です。



## 一般国道 418号原石山線 開通

一般国道418号八百津バイパス・原石山線が、4月21日に開通しました。

この道路は、八百津町地内の原石山からダム建設に必要なコンクリートの骨材を運ぶための工事用道路と、一般国道418号八百津バイパスをかねています。



▲4月21日に開通した一般国道418号

### 深めたい、地域との関係 【開通記念イベント】

1300人が参加、親子連れで大



▲会場は、大勢の人々の笑顔でいっぱい

4月17日、開通記念イベントが町内で、こ

された家族

記念植樹や



子供たちのすこやかな成長を見守る記念樹



## スクスク育ち、元気に巣立った!! 新たな「宿」でフクロウに再会



今年3月に、移設先の「フクロウの宿」でフクロウと念願の再会！体長20cmほどの3羽の子供は、白い産毛につつまれ元気いっぱいの鳴き声をあげていました。そして、同年5月には「フクロウの宿」近くの木の枝に止っている親子の撮影に成功。3羽の子供は順調に育ち、無事に巣立っていきました。「フクロウの宿」とは、新丸山ダムの建設にともなう道路整備の工事現場で樹木が伐採されるため、野鳥の営巣の場になるように設けられた巣のこと。以前、樹木の伐採中にフクロウの巣を発見したとき、ヒナが巣立つまで周辺の工事を一時中断。その後、工事を再開し、伐採した木かぶをほかの場所に移設して、「フクロウの宿」と命名しました。

写真提供：岐阜県立加茂高等学校教諭 梶浦敬一氏



## 楽しみ・驚き、新しい発見がいっぱい 森や湖とふれあえる 夏のイベント

森や湖とふれあう機会を増やし、川や湖などの大切さや理解を深めていただくため、7月22～24日、丸山ダム管理所と共同で「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催。約700名が、水と緑に囲まれた丸山ダムで楽しい一時を過ごしました。また、8月7日に行われた「八百津町蘇水峡川まつり」には、新丸山ダム工事事務所も参加。職員など24名が参加し、新丸山ダムのPRをかねてパネルなどの展示、うちわ1000枚の配布や楽しいゲームなどで、地域の方々との交流を深めました。

### 八百津町 蘇水峡 川まつり



設営コーナー



▲新丸山ダム工事事務所の職員がふんするぬいぐるみと遊ぶ子供たち

### 湖上遊覧



### 横坑探検



### 調査設計に



# ふれあい すぺ〜す

1m級の巨大ゴイノ丸山ダム湖に出現!!

釣り人もビックリ!  
 厳しい暑さもなんのその  
 ダム湖のコイは元気に育つ

今年の6月、丸山ダム湖で目を見張るような大きさのマゴイが釣り上げられました。

「二人がかりで、やっとの思いで釣り上げたみたいだね。ほら、ここに魚拓があるよ」とは、丸山で釣具店を営む山内さん。店内の壁は、ほかにも1m級のコイなどの魚拓で埋めつくされています。「今年の川は、水量が少なく水温が高いから、みんな釣れそうなポイントを探すのに苦労したみたいだね」。深いところは水温があまり高くない



▲店内に貼られた魚拓  
 巨大ゴイの魚拓を持つ山内さん▶

せいか魚が集まり、釣りポイントだとか。そんな中での大物釣りに、山内さんは驚き



▲豊かな自然に囲まれた丸山ダム



▲巨大ゴイは抱きかかえるほどの大きさ

の様子。「秋になれば、大きなコイや漁業協同組合が放流したマスなどが釣れるんだけど」と、教えていただきました。次に、山内さんに紹介されて木曾川中流漁業協同組合(漁協)を訪ねました。

年、木曾川の本流や支流などに、アユやアマゴ、ニジマス、ウナギ、コイ、フナなど、様々な稚魚の放流が行われています。また、川岸に生えているじやまな草木を刈ったり、川の清掃など、漁協では川の美化活動にも力を入れています。「最近、家庭排水が川へ流れ込むから川の汚れが目立つね」と、残念そうな表情。そもそも、稚魚の放流をはじめたきっかけは、川の汚染のせい自然にふ化する稚魚の量が減ったためだとか。「家庭排水による川の汚染をなくしていくように、地元の方々に呼び掛けたい」と、話してくれました。



▲放流を待つ稚魚



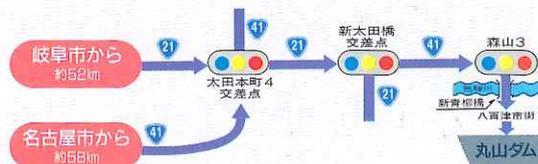
▲地元の方々による放流

## ダム湖へおいでよ!



▲丸山ダム湖

### ■丸山ダムまでの道順ガイド



▲コイ



アユ▶